

令和 1 年 2 月 10 日

令和 1 年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科

氏 名 中井 毅尚

活動テーマ	三重県の中大規模木造建築設計者の育成と空き家対策
実施期間	令和 1 年 5 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>◎三重県中大規模木造建築設計セミナーを三重県と開催し、建築設計者の育成を行った^{添付資料 1}。</p> <p>三重県農林水産部森林林業経営課と協力して、県内一級建築士を対象に中大規模木造建築設計者育成セミナーを平成 30 年度に引き続き、令和 1 年度も実施した。今年度からみえ本セミナーをみえ森林・林業アカデミーの選択講座「木造建築講座」として組み込み、継続実施する体制を整えた。</p> <p>◎三重県森林審議会の委員長として三重県南部の生産林の実態調査を行うと同時に、島根県・松江市および島根県立大学・東京大学と連携して有形登録文化財の管理・活用体制を整えるための調整会議を行った。また、松江市の有形登録文化財に登録した空き家では、茶室を活用したお茶会^{添付資料 2}を開催しての利活用を試みた。さらに、一部塀の改修工事を実施した^{添付資料 3}。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>木材資源の地産地消、さらに最近では地産都消も叫ばれる中、木材資源を理解した建築士の育成は地域の発展・活性化に大きくつながる。一方、空き家対策は今後さらに拡大すると思われる全国的な問題である。個人資産であることが対策を遅らす大きな要因であるが、我々の試みは解決策の一つとして認められると思われる。</p> <p>これらの試みは、三重県に留まらず近隣県、さらには全国への波及効果も大きく、パイオニア的な試みである。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>非常に緊密な連携が取れており、次年度以降もさらに連携を強化していきたい。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>◎R1 年度三重県中大規模木造建築設計セミナー</p> <p>生物資源学部で学べる森林から獲られる建築材料としての木材や、木質材料・木質構造をベースに、「森林林業」、「木材製造流通」、「木材調達」、「木造建築概論」、「意匠設計」、「耐久性計画」、「木構造計画」、「防耐火計画」の講座を設け、セミナーに活かした。</p>

◎空き家対策

昨年度、中心市街地の空き家調査と地元住民も含めた観光客の動向と要望を調査した結果を基に、空き家の利活用に活かした。

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

◎R1 年度三重県中大規模木造建築設計セミナー

2019年10月3日(木): 38名(会場: ウッドピア松坂)

2019年10月4日(金): 39名(会場: ウッドピア松坂)

2019年10月24日(木): 22名(会場: 三重大学レーモンドホール)

2019年10月25日(金): 22名(会場: 三重大学レーモンドホール)

2019年11月11日(月): 23名(会場: 三重大学生物資源学部 217室)

2019年12月17日(火): 35名(会場: 三重大学生物資源学部 217室)

◎秋のお茶会

2019年11月16日(土) ~17日(日): 延べ37名(村松邸(松江市))